

所得確保対策と多様な人材の育成等で地域の元気をつくる

農林業で+の所得を生み出すモデル地区の取組み支援

全32地区を**取り残さない補助支援**
(県単事業支援:11地区)

○取組みが成功と判断されるまでの営農指導・**販売力強化支援**

人材の育成(地域リーダー・農泊人材の育成・確保)

農泊実施地域の**県域ネットワーク構築**

○農泊人材の機運再構築

むらづくり人材・コーディネーター育成

〔新〕地域で支えあう農村RMOモデル形成

将来ビジョン・取組計画策定支援(山鹿市、球磨村)

○新たなモデル**地区の掘り起し(集落実態把握)**

集落の枠組みを農村RMOの基盤として活用



棚田の保全・活用と日本型直払活用による地域振興

中山間地域等直接支払の取組維持・拡大による中山間地域の下支え

要件緩和(全額遡及返還の見直し)の周知

加算措置の制度活用の推進

取組農家の高齢化対策の対応事例の周知

多面的機能支払の取組拡大と田んぼダムの取組み等への積極的活用

活動組織における丁寧な合意形成と

広域化による事務軽減

自然災害への備えとして推進

田んぼダムの取組拡大支援



(田んぼダムに係る資材購入)

棚田を核とした地域振興

棚田法のメリット措置のフル活用

「つなぐ棚田遺産」のPR

棚田振興活動の支援

農と食の連携

レシピ集の作成による「食の名人さん」の活動拡大



次世代につなぐ農村(むら)づくり

自走化に繋げる“スーパー中山間地域の磨き上げ”

農林水産業の柱を持ち、若者の受入れや新たな経済循環等の取組みによって、**活力あふれる持続可能な地域を創生**



山鹿市菊鹿地域



高森町野尻地域



南阿蘇村地域



〔新〕阿蘇世界農業遺産認定10周年を契機とした新たな価値の創出

阿蘇GIAHS認定から10年間の総括

知事出席による10周年記念シンポジウムの開催

・開催時期: 場所: 令和5年秋(10月~11月のうち2日間)・阿蘇市内

・FAOや農水省、認定時の功労者も来賓として招聘

・寄附金感謝状贈呈式

・GIAHS関係者による記念講演

・阿蘇地域の生産者や流通関係者等によるパネルディスカッション

・エクスカージョン 等



平成25年5月 GIAHS認定時の様子
(世界農業遺産国際会議にて)

これからの10年間へ向けた仕組みづくり

「食」による阿蘇GIAHSの価値を発信する仕組みづくりと

阿蘇の「食」を経験できるフェアの開催

「食」をメインとした阿蘇GIAHSのPR強化



野生鳥獣による農作物被害防止対策

野生鳥獣が生息しにくい環境整備と管理

地域ぐるみで野生鳥獣が生息しにくい集落の環境整備と管理を行う「**えづけSTOP!対策**」の着実な推進

鳥獣被害防止強化月間(11~12月の1ヶ月間)の設定

くまもと 農家ハンター等と連携した人材育成・確保

カモ・シカ等被害拡大鳥獣の広域的な被害防止対策強化

有害鳥獣の捕獲

有害鳥獣捕獲従事者等との連携による**捕獲活動の強化**

えづけSTOP!



農地への侵入・被害防止

国庫、県単補助等の活用による**防護柵の設置**

DXやGISを活用した戦略的鳥獣被害防止対策の展開
(農地GIS、ハンターマップの活用)

広域連携による被害防止対策の推進

(連携会議開催、被害多発地域の実態調査実施等)

鳥獣被害防止対策が実施された農地整備の推進

ジビエ利活用の推進

コンソーシアムを核とした**ジビエのビジネス化**

くまもとジビエ料理フェア(秋~冬の約1ヶ月間)の開催

